

## 「伊勢崎市国土強靱化地域計画（案）」についてのパブリックコメント手続

## の結果

意見の募集期間	令和3年11月18日 ～ 令和3年12月17日
意見の提出者数	1 人
意見の件数	8 件
意見の要旨の数	8 件
担当部課	総務部 安心安全課
電話	0270-27-2706（内線 5327）
ファックス	0270-26-6123
電子メール	anshinanzen@city.isesaki.lg.jp

伊勢崎市国土強靱化地域計画（案）に関するパブリックコメント手続を令和3年11月18日（木）から令和3年12月17日（金）まで実施し、1名の方から8件のご意見・ご提案を頂きました。

お寄せいただいたご意見等の要旨とそれに対する市の考え方について次のとおり公表します。

寄せられたご意見等の要旨とそれに対する市の考え方について次のとおり公表いたします。

## 1 伊勢崎市国土強靱化地域計画（案）についての意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	SDG sに関する記載があるが、必要ないのではないか。	本市では、50年、100年経って輝き続ける持続可能な地方都市を目指し、「世代間の共生」、「地域間の共生」、「SDG sによる共生」を軸としてまちづくりに取り組んでいます。 本計画案は、持続可能な地方都市づくりに向けたまちづくりの指針として策定するもので、今後の国土強靱化施策の実施にあたっては、持続可能な開発目標であるSDG sへの貢献を念頭に取り組むことを位置付けております。
2	起きてはならない最悪の事態の1-3及び1-4は、多数の死者の発生とすべきではないか。	ご意見のとおり反映させていただきます。
3	全般的に脆弱性の分析が不十分と思われ、それぞれのリスクシナリオに対する脆弱性の分析が必要ではないか。	脆弱性の評価については、総合計画後期基本計画における各施策の現状と課題、過去の災害履歴や施策の進捗状況等を踏まえて、分析・評価を行っております。
4	同じような施策を統合するなどの整理が必要ではないか。	今後、計画改定を行う際の参考とさせていただきます。
5	再掲の掲載方法について、一番関連性のあるところは詳細に記載して、関連の薄いところを再掲としてはどうか。	今後、計画改定を行う際の記載方法の考え方として、参考とさせていただきます。

**別記様式 4**

6	問題を解決するには何が必要かという観点からの対応方策を考えるのが計画ではないか。	本計画案は、国土強靱化施策に関して庁内各部署で所管する分野別計画の指針となることから、計画を実現化する具体的な施策は各部署の分野別計画で位置付けることとなります。
7	市の実情に合わせた強靱化に対する課題検討を行い、計画内容の取捨選択を目的を絞った計画にする必要性があるのではないか。	本計画案では、必要な事前防災、防災・減災対策を総合的かつ計画的に推進するため、国の政策動向にも柔軟に対応できるよう総合計画の施策分野との整合性を図る必要があります。なお、施策の重点化を図るため、緊急度や取組の進捗度、過去の災害履歴等を客観的に評価した上で、リスクシナリオ単位で重点施策を表記しています。
8	市民が読んで、わかりやすく、意味のある計画としていただきたい。	見開きのページ構成や用語解説の充実などに努めておりますが、今回頂いたご意見を参考に計画の実効性を高めながら、今後の計画策定や具体的な施策の実施に取り組んでまいります。